

とよ・たち 美肌通信



8月号

VO1.85

きんご

二二ね

8月号



今月号の表紙は、

大きなスイカをおいしそうに

女の子が食べているかわいらしい絵

です♡ スイカが食べたくなる～!!

歌をうたう事と、まりつきが好きで、

^{しんたいそう}新体操 (特に^{そくてん}側転) が得意な

女の子がかいてくれました 😊

ありがとうございます!

院長はじめスタッフ一同

バリエリ感謝いたします。



誰かが私に文に対して 何らかの助言をしてくれたとします。私はその助言をどう受けとめるでしょうか。受けとめ方は時に応じて複数あると思います。①感謝の心で受け入れその助言を生かす。②助言など必要ないと、拒否する。③表では良い事を言っているが裏で何をたくらんでいるか分からないから気をつけ様と疑いの心で受けとめる。こうした受けとめ方のうち、素直な心を持っていれば、やはり①の様になるのではないのでしょうか。

その理由は、助言をしてくれた好意・親せき心に対して感謝があること、それと同時に良いものを良いものとして正しく認識することが出来る心であるからだと考えられます。

しかしながら、私自身もそうですが社会の営みの中では、必ずしも良いものを常にその通りに受け入れているとは言えません。

かたくなに拒否したり、不信や疑いの心で受けとめるとい、た事が少なからず存在します。

けれどもそれだと良い助言が生かされなくなるばかりか、良い考え方やそのものが世間に広まらなくなることになり、てしまします。

従って私達は良いものは良いものと認め、その価値を正しく認識し合える様にしなければなりません。

素直な心を持つ様努力し続けければ、物事の真相や真実を見極められる人になれる、そんな素敵なことはないと思います。

だから良いものを良いものとして認識し受けとめなという実践は、すなわち素直な心を持つとうとする努力からスタートすることであり、その結果として脈々と正のスパイラルと言うか又は相乗効果が連鎖され素直な心が更に増していくことになると思います。

院長 拜